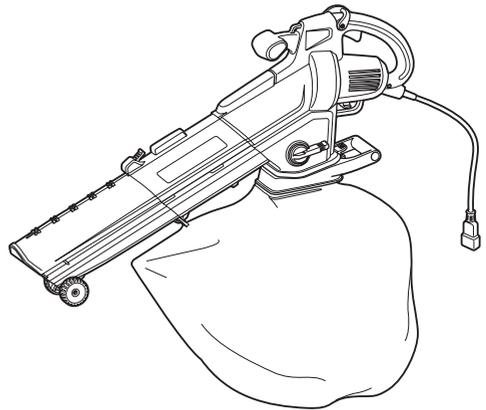


Makita

取扱説明書

電気ブロワ/集じん機

☐ モデル MUB1200



二重絶縁

このマークを表示した製品は二重絶縁構造ですのでアース（接地）する必要はありません。マキタ製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、または準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

このたびは電気ブロワ/集じん機をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



目次

・ 主要機能	3
・ 安全上のご注意	4
・ 電気ブロワ／集じん機安全上のご注意	10
・ 各部の名称および標準付属品	12
・ 別販売品のご紹介	13
・ ご使用前の準備	14
・ ロックコネクタ付ツナギコード（延長コード）の接続・取りはずし方	14
・ 肩掛けバンドの取り付け方	15
・ ノズルの伸縮	15
・ ダストバッグの取り付け・取りはずし方	16
・ ホイールの取り付け・取りはずし方	17
・ ツナギコードの接続	18
・ 使い方	19
・ ブロワ（吹き飛ばし）／集じん（吸い込み）の切り替え操作	19
・ スイッチの操作	20
・ スイッチの入れ方・切り方	20
・ クルーズコントロール機能	20
・ 作業方法	21
・ ブロワ作業方法	22
・ 集じん作業方法	23
・ 別販売品の使い方	24
・ ワイドノズルの取り付け・取りはずし方	24
・ 保守・点検について	25
・ お手入れは	25
・ 保管	26
・ ご修理の際は	26
・ 電気ブロワ／集じん機 保証書	28

主要機能

主要機能		モデル	MUB1200
電動機		直巻整流子電動機	
電圧		単相交流 100 V	
電流		11.5 A	
周波数		50-60 Hz	
消費電力		1,050 W	
ブロー	風量	4.6 m ³ /min (m ³ /分)	
	風速	平均：59 m/s (m/秒) 最大：71 m/s (m/秒)	
集じん機	最大風量	7.0 m ³ /min (m ³ /分)	
	集じん容量	25 L	
	最大真空度	3.7 kPa (380 mm 水柱)	
本製品寸法		長さ 760 ~ 1,010 mm × 幅 164 mm × 高さ 371 mm	
質量		3.2 kg	

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

- ・ ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ 「電動工具」は、電源式（コード付き）電動工具を示します。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

： 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。

⚠ 警告

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
 - ・ 作業者以外、電動工具や電源コードに触れさせないでください。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは電動工具の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
 - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
 - ・ 感電する恐れがあります。
3. 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
 - ・ 電動工具内部に水が入り、感電する恐れがあります。
4. 電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って電動工具を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。
5. 屋外の使用に適した延長コードを使用してください。
 - ・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
6. アース（接地）付きプラグやアース線がある場合、アース線をガス管に接続しないでください。
 - ・ 発火や爆発の原因になります。
7. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・ 表示を超える電圧で使用すると、モータの回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

⚠ 警告

作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、電動工具を使用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは電動工具を使用しないでください。
 - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
2. 安全保護具を使用してください。
 - ・ 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。
3. 不意な始動は避けてください。
 - ・ 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - ・ 電源コードをつないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
4. 電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - ・ 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
 - ・ 本機に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。
5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
6. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・ 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

電動工具の使用および手入れ

1. 電動工具は能力に合った作業に使用してください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。
2. スイッチに異常がないか点検してください。
 - ・ スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

⚠ 警告

3. 電動工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・ 本機の調整
 - ・ 刃物、砥石、ビットなどの付属品の交換
 - ・ 保管、または修理
 - ・ 電動工具から離れるとき
 - ・ その他危険が予想される作業
4. 使用しない電動工具は、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
 - ・ 電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
5. 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
 - ・ 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ 電源コードは定期的な点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的な点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
 - ・ 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
7. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
 - ・ 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本機の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。
8. 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
 - ・ 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
9. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。
10. 「取扱説明書」と「安全上のご注意」をお読みになって、電動工具とその操作を理解した方以外は使用させないでください。
 - ・ 理解せずに使用することは危険です。
11. 子供や取り扱いに詳しくない人に本機を使用させないでください。
 - ・ けがや事故の原因になります。

⚠ 警告

整備

1. 電動工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
 - 本機を分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
 - 本機が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
 - 本機は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。
 - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
 - 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。

<異常・故障例>

 - 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
 - 電源コードに深いキズや変形がある。
 - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
 - 焦げくさい臭いがする。
 - ビリビリと電気を感じる。
 - スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。
2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
 - 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。(材料を動かして加工する製品を除く。)
4. 電源プラグにぬれた手で触れないでください。
 - 感電の恐れがあります。

⚠ 警告

5. 使用できる延長コードの太さ（導体公称断面積）と最大長さの目安

- ・ 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本機を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。
- ・ 延長コードは本機のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用できる長さの目安		
	～ 5 A	5 ～ 10 A	10 ～ 15 A
2.0 mm ²	50 m	30 m	20 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることが出来る所に必ず保管してください。
- ・ ほかにの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、電気ブロワ／集じん機として、さらに次の注意事項を守ってください。

⚠ 警告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 本機を雨中や湿気のあるところで使用したり、放置しないでください。また、水や湿ったゴミ、鋭利なガラス、刃物、釘、ネジなどを吸い込ませないでください。
 - ・ 感電や故障の原因になります。
3. 使用する前に必ず周囲に人がいないことを確認してください。
 - ・ 事故の恐れがあります。
4. ガソリン、ガス、塗料、接着剤などの引火性のある危険物の近くでは、使用しないでください。また、それらを吸い込ませないでください。
 - ・ 引火または爆発の原因になります。
5. 火のついたタバコ、マッチなどを吸い込ませないでください。
 - ・ 火災の原因になります。
6. 使用中は、本機を確実に保持してください。
 - ・ 確実に保持していないと、けがの原因になります。
7. 使用中にノズルの先端を人に向けたり、くずなどを人に吹き付けたりしないでください。
 - ・ 事故の原因になります。
8. 本機の吸入口や送風口、排出口には手を入れないようにしてください。
 - ・ けがの原因になります。
9. 使用中は保護メガネをご使用ください。また作業環境により、安全靴、保安帽、マスクなどもご使用ください。
10. 本機の使用中は必ず安全靴などの頑丈な靴および長ズボンを着用してください。
 - ・ 小石などが飛び散ったときなど、けがの原因になります。
11. 使用中、本機の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
12. 誤って落としたり、ぶつけたときは、本機などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
13. 小さい子供やペットのいるそばで使用しないでください。また小さい子供には使用させないでください。
 - ・ 事故の原因になります。
14. 吸い込まれる可能性のある、だぶついた衣服や装飾品を身に着けないでください。長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
 - ・ けがの原因になります。

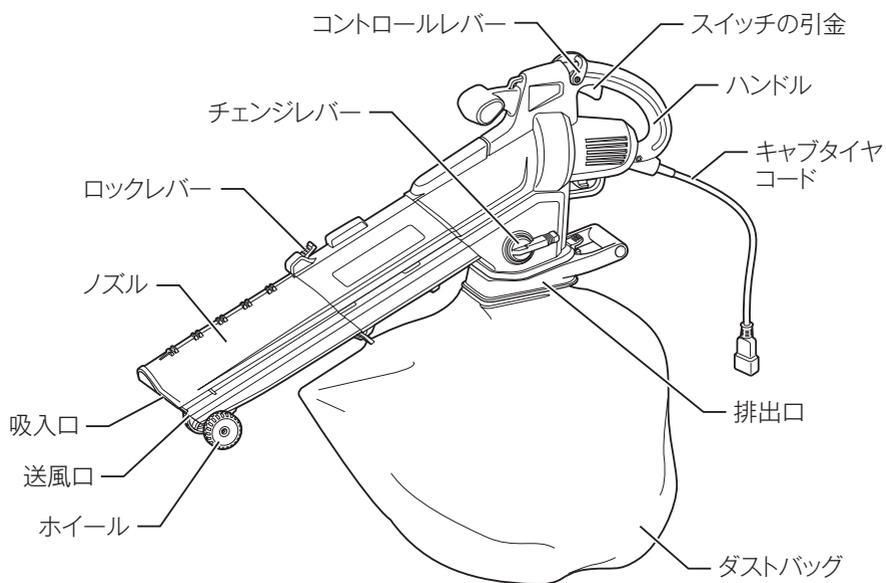
⚠ 警告

15. 本機の使用が他の人や他の人の財産に対して、本機に不備が無い事故や、損害を与えた場合はその責任を負う義務があります。
16. 釘、ガラス、刃物などの鋭利なものを吹き飛ばさないでください。
 - ・ けがや事故の原因になります。
17. 傾斜地では常に足場を確保してください。
18. 歩いて作業してください。決して走らないでください。

⚠ 注意

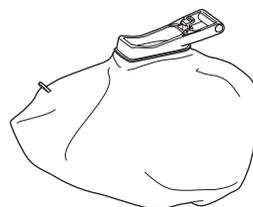
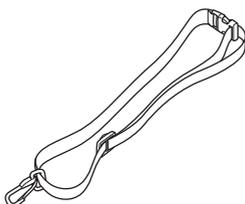
1. 付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ・ 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
 - ・ 本機などを落としたときなど、事故の原因になります。
3. 送風口や吸入口をふさいだり、ノズルの先端を絞り込んだ運転をしないでください。また、吸入口にはくずなどをためないようにしてください。
 - ・ けがやモータの発熱などによる破損の原因になります。間違った使用例：
 - ・ ノズルの先に小径のホースを取り付ける
 - ・ ボールやゴムボートの空気入れとして使う
4. 吸込口（送風口）や排出口をふさいで運転しないでください。
 - ・ けがやモータの発熱などによる破損の原因になります。
5. 作業前に大きな木片、金属、ガラス、石などの異物を取り除いてください。
 - ・ ファンなど破損の原因になります。
6. 集じん作業前に必ずダストバッグが本機に取り付けられていることを確認してください。
 - ・ けがの原因になります。
7. 運転させたまま放置しないでください。
 - ・ けがの原因になります。

各部の名称および標準付属品



標準付属品

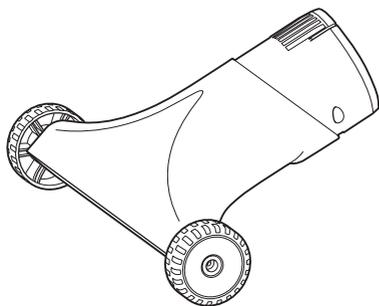
- ・ ロックコネクタ付ツナギコード (10 m)
- ・ 肩掛けバンド
- ・ ダストバッグ



別販売品のご紹介

別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。

- ・ ワイドノズル
部品番号：A-71613



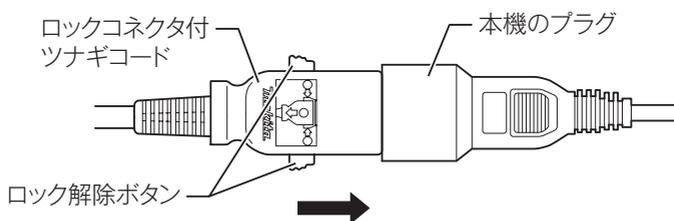
ご使用前の準備

ロックコネクタ付ツナギコード(延長コード)の接続・取りはずし方

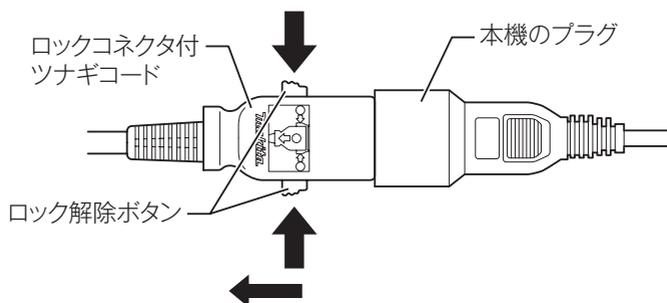
⚠ 警告

ロックコネクタ付ツナギコードを本機のプラグに接続するときは、スイッチが切れていることとロックコネクタ付ツナギコードが電源コンセントに接続されていないことを確認してください。

- ・ スイッチを入れたまま電源プラグを差し込むと急に動きだし、事故の原因になります。
- ・ ロックコネクタ付ツナギコードを本機のプラグに接続するときは、ツナギコードを本機のプラグの奥まで差し込んでください。



- ・ 取りはずすには、ロック解除ボタンを押した状態で本機のプラグからツナギコードを引き抜きます。



注

- ・ ロックコネクタ付ツナギコードと本機のプラグを接続したまま、コードを無理に引っ張ったり、本機をぶら下げないでください。
- ・ ロック解除ボタンを押さずに、無理にプラグを引き抜かないでください。故障の原因になります。

ご使用前の準備

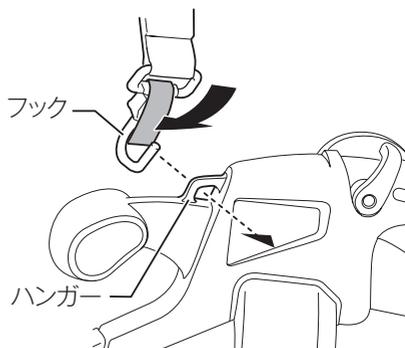
⚠ 警告

付属品の取り付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、事故の原因になります。

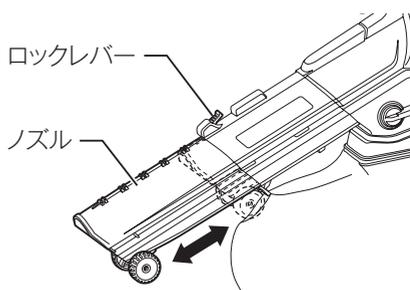
肩掛けバンドの取り付け方

- ・ 肩掛けバンドのフックを、本製品のハンガーに引っ掛けて確実に取り付けてください。
- ・ 肩掛けバンドの長さは調節できますので、使いやすい長さに調整してご使用ください。



ノズルの伸縮

- ・ ノズルはコンパクトに収納できるよう、伸縮式になっています。使用するときには、ロックレバーを押しながら、ノズルを作業しやすい長さに調整してください。
- ・ ノズルは 50 mm ずつ最長 250 mm まで、6 段階で調整することができます。



注

- ・ 長さを調整した際は、ノズルの先端を押してノズルが固定されていることを確認してください。ノズルが固定されていないと、作業中に不意にノズルが縮む場合があります、けがの原因になります。
- ・ 砂などの粉じんを多量に吸い込みますと伸縮部の隙間に侵入し、ノズルの伸縮操作が重くなる場合があります。このような場合は、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いた状態で 2～3 回伸縮操作し、隙間に侵入した粉じんを払い落としてください。

ご使用前の準備

ダストバッグの取り付け・取りはずし方

⚠ 注意

集じん作業前に必ずダストバッグが本製品に取り付けられていることを確認してください。

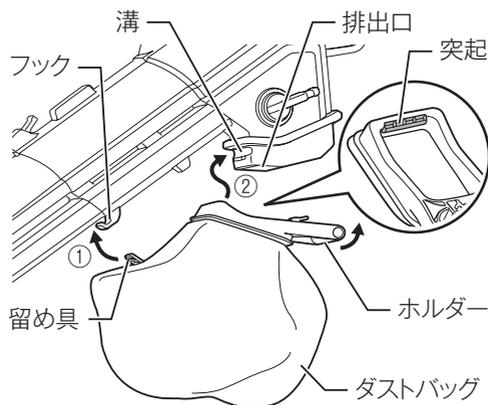
- ・ けがの原因になります。

ダストバッグを本製品に取り付ける際は、ファスナーが閉まっていることを確認してください。

取り付け方

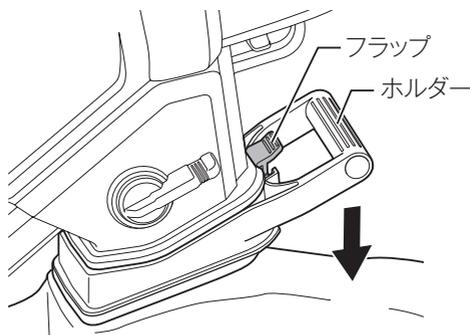
ノズルを一番縮んだ位置から伸ばしてください。

- ①ダストバッグの留め具をノズルのフックに取り付けてください。
 - ②ホルダー前側の突起を本製品の排出口の溝に合わせて、ホルダーを引き上げるようにして取り付けてください。
- ホルダーを上下に動かして、しっかり取り付いていることを確認してください。



取りはずし方

- ・ ホルダーのフラップを下に押しながらホルダーを下げて本製品からはずしてください。



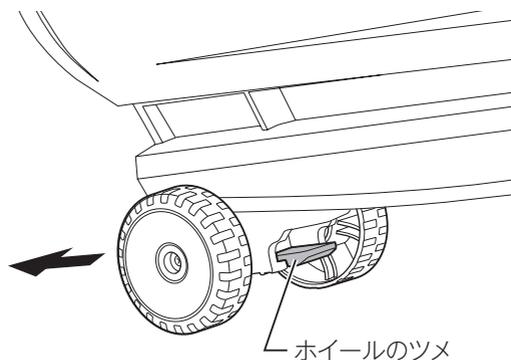
ご使用前の準備

ホイールの取り付け・取りはずし方

ホイールは取り付けられた状態で梱包されていますが、取りはずすことができます。

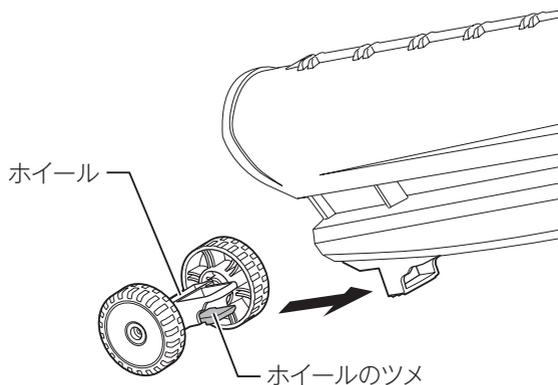
取りはずし方

- ・ ホイールのツメを上方向に押し込むようにしてはずし、ホイールを引き抜いてください。



取り付け方

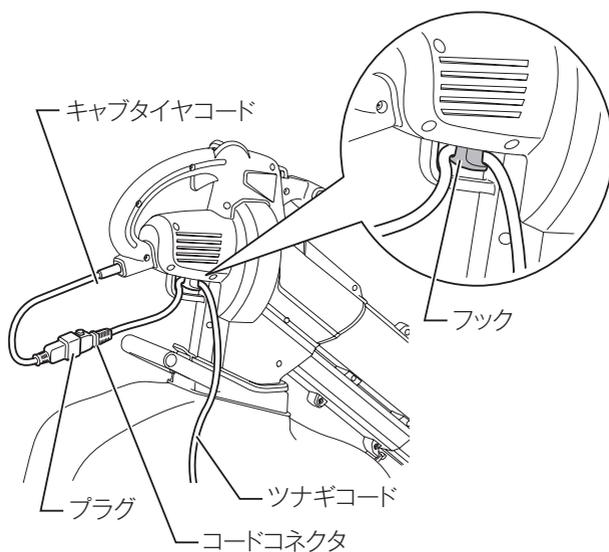
- ・ ホイールを図のような向きで、ホイールのツメがカチッと音がるまで差し込んでください。



ご使用前の準備

ツナギコードの接続

- ・ ツナギコードを接続するときは、キャブタイヤコードのプラグと、ツナギコードのコードコネクタが使用中はずれないように本製品のフックに掛けてください。



使い方

本製品はブロウ（吹き飛ばし）作業、あるいは集じん（吸い込み）作業の2通りの作業を行うことができます。

ブロウ（吹き飛ばし）／集じん（吸い込み）の切り替え操作

⚠ 注意

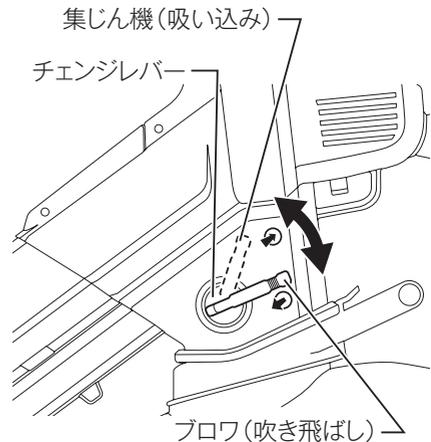
チェンジレバーは集じんの位置、もしくはブロウの位置でのみ使用し、中間の状態で使用しないでください。

- ・ 故障の原因となります。

作業中にチェンジレバーの操作は行わないでください。集じんとブロウの切り替えは必ずスイッチを切ってから行ってください。

- ・ 故障の原因となります。

- ・ 本製品はチェンジレバーの操作により簡単にブロウと集じんの切り替えができます。
- ・ 集じん機（吸い込み）としてお使いになる場合は、チェンジレバーを上止まるまで引き上げます。
- ・ ブロウ（吹き飛ばし）としてお使いになる場合は、チェンジレバーを下止まるまで押し下げます。



注

- ・ 砂などの粉じんを多量に吸い込みますと、切り替え部の隙間に侵入し、一時的にチェンジレバーの切り替えが重くなる場合があります。このような場合には、スイッチを切った状態で、2～3回チェンジレバーを操作し、隙間に侵入した粉じんを払い落としてください。

使い方

スイッチの操作

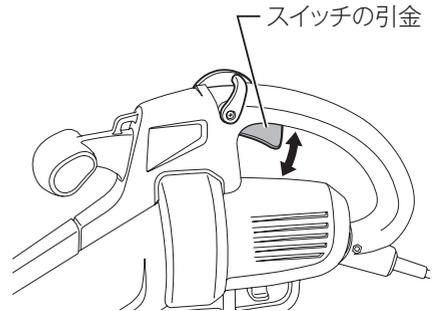
⚠ 警告

電源コンセントに電源プラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スイッチを入れたまま電源プラグを差し込むと急に動きだし事故の原因になります。

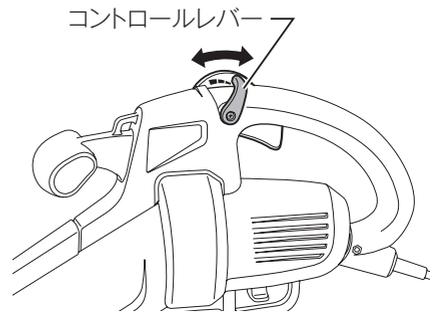
スイッチの入れ方・切り方

- ・ スイッチは引金を引くと入り、引金を放すと切れます。
- ・ スイッチの引金の引き加減により、風量を調整することができます。



クルーズコントロール機能

- ・ スイッチの引金を操作せずに風量を一定に保つことができます。
- ・ 風量を上げるには、コントロールレバーを前方へ回します。
- ・ 風量を下げるには、コントロールレバーを後方へ回します。



⚠ 注意

使用後は、コントロールレバーを後方に戻し、スイッチが完全に切れている状態にしてください。

使い方

作業方法

⚠ 警告

作業中は保護メガネを着用してください。また必ず安全靴や長ズボンをはいて作業してください。

- ・ 小石などが飛び散ったとき、けがの原因になります。

大きな木片・金属・ガラス・小石などの異物、液体、火のついたタバコなどは吸い込ませないでください。

- ・ 感電・火災・けがの原因になります。

本製品の吸込口（送風口）や排出口には手を入れないようにしてください。

- ・ けがの原因になります。

作業中はノズルの先端を人に向けないでください。

- ・ 事故の恐れがあります。

⚠ 注意

集じん作業前に必ずダストバッグが本製品に取り付けられていることを確認してください。

- ・ けがの原因になります。

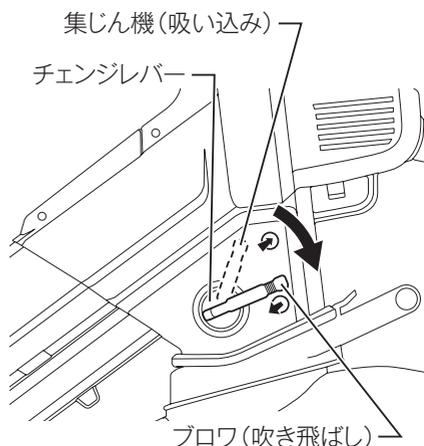
枝や長いひもなどファンにからまりやすいものは、吸い込ませないでください。

- ・ 故障の原因となります。

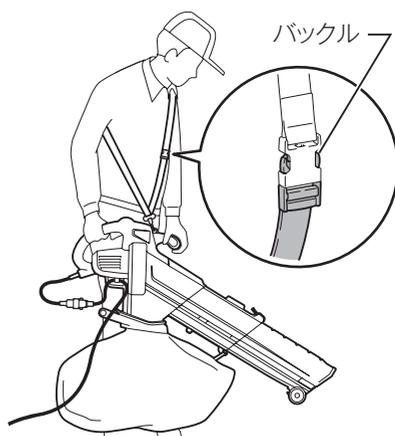
使い方

ブロワ作業方法

- ・ 肩掛けバンドを肩に掛け作業がしやすい位置にベルトの長さを調整してください。
- ・ ノズルを作業しやすい長さに調整してください。
- ・ チェンジレバーを下に止まるまで押し下げ、確実にブロワの位置に切り替えてからスイッチを入れてください。



- ・ 本製品を両手で確実に保持し、ゆっくりと動かしながらブロワ作業を行ってください。
- ・ 建造物や大きな石、車などの周辺で作業する場合は外側に向かって作業してください。
- ・ コーナーの作業はコーナーから始めて徐々に広い方へ移動して作業してください。



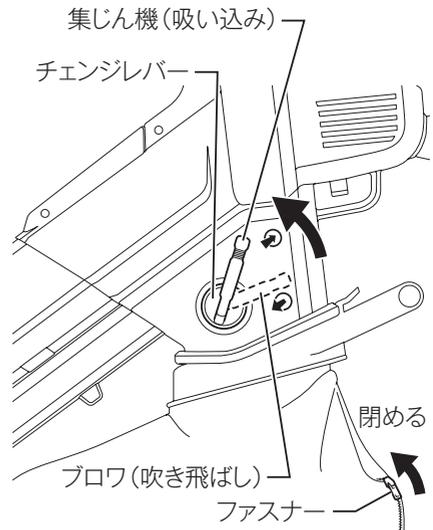
注

- ・ 作業前に肩掛けバンドのバックル部が確実にハマっていることを確認してください。確実にハマっていないと本製品が足の上に落ち、けがや故障の原因になります。

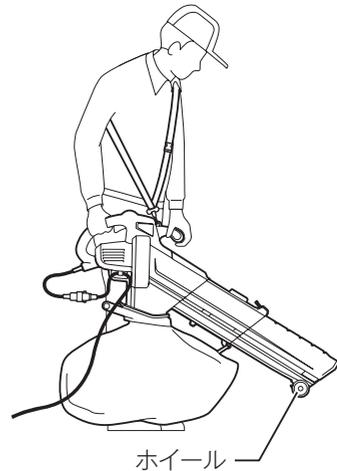
使い方

集じん作業方法

- ・ ダストバッグを本製品に確実に取り付けてください。また、ダストバッグのファスナーが閉まっていることを確認してください。
- ・ 肩掛けバンドを肩に掛け、作業がしやすい位置にベルトの長さを調整してください。
- ・ ノズルを作業しやすい長さに調整してください。
- ・ チェンジレバーを上にもどすまで引き上げ、確実に集じんの位置に切り替えてからスイッチを入れてください。



- ・ 本製品を両手で確実に保持し、前後にゆっくり動かして集じんしてください。
- ・ ホイールを地面に当てて転がすと作業しやすくなります。
- ・ 作業後は、ダストバッグにたまったゴミを捨ててください。



注

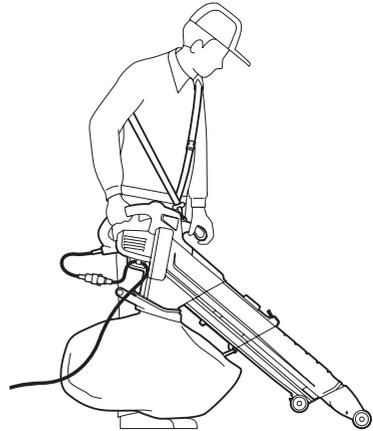
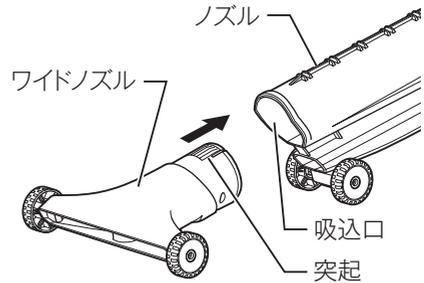
- ・ ダストバッグにたまったゴミはこまめに捨ててください。その際、内側のホコリをよくふりはらって取り除いてください。
 - ・ 吸引力が弱まり、効率が悪くなります。

別販売品の使い方

ワイドノズルの取り付け・取りはずし方

取り付け方

- ・ ワイドノズルの突起を上にして、吸込口に差し込んでください。
- ・ ワイドノズルを用いることにより、床などでの集じん作業を効率よく行うことができます。



取りはずし方

- ・ 取り付け方の逆の要領で行ってください。

注

- ・ ワイドノズルは、集じん作業専用のアタッチメントで、ブロワ作業用ではありません。

⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、感電や事故の原因になります。

お手入れは

- ・ 使用後は、風窓やノズルのチリなどを取り除き、乾いた布か薄めた中性洗剤を付けた布で本製品の汚れをきれいにふきとってください。
- ・ ゴミを捨てた後、ダストバッグを裏返しにし、内側のホコリをよくふりはらってください。このとき、必要に応じて保護メガネ、マスクを着用してください。また、ダストバッグは時々水洗いをしてください。水洗い後は、よく乾かしてから使用してください。

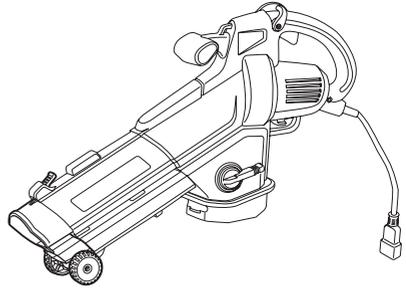
注

- ・ 本製品の水洗いは絶対にしないでください。
 - ・ 本製品内部に水が入り、故障の原因になります。
- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

保守・点検について

保管

- ・ ロックレバーを押しながらノズルを縮めることにより、コンパクトに収納することができます。
- ・ 高温にならない乾燥した場所で、お子さまの手の届かないところに大切に保管してください。



ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)

MUB1200-JP-2008

IWT